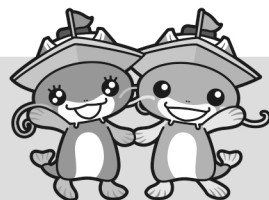


新 びわこ『舟券マスター』への道



ファイル 005

しばらくは強力モーターの天下に

●まさかの3連発が2度も続く！

2月5日からボートレースびわこ（以下、びわこ）で開催された一般戦シリーズ「レディースオールスター開催直前・BOATBoyカップ」の準優勝戦（9日）で、1着①番-2着②番という結果が3つ続いた。他場なら（たとえば、お隣の住之江だったら）それもありだが、びわこの準優勝戦は昔も今も「荒れるのが普通」という認識を誰もが持っている。

そんなびわこの準優勝戦で①-②の連番が3つ続くなんで、こんなこともあるんだなあ…あれっ、なんかちょっと前にも同じセリフをつぶやいたような記憶が…。調べるまでもなく思い出した。前節、「オールサンケイスポーツ杯」でも準優勝戦が3レースとも①-②決着だったことを。

これは確かに、びわこでは“異変”と呼べる事例だ。びわこといえば、モーターだ。特に『びわこ舟券マスター』を自称、あるいは目指す舟券ファンにとっては、スター選手の動向よりもモーター相場をいかに把握しているかが最重要テーマだと言っても過言ではない。そんなびわこの強烈すぎる上位モーターが、びわこの常識を蹴散らしたのだろうか？

●びわこの“異変”を検証する

さっそく検証してみよう。参考資料として、2018年に入ってからびわこシリーズの準優勝戦と優勝戦の3連単結果をまとめてみた。これを見ると「BOATBoyカップ」と「オールサンケイスポーツ杯」の結果が異様なまでに堅かったことがわかる。ただ、その兆しは、その前の「荒法師賞」や「新春滋賀県知事杯争奪戦」からじわじわと忍び寄っていたともいえる。

びわこの準優勝戦では「イン3連敗」という、一般的には“波乱”

と呼べる事例が、他場に比べると確かに多く起こる。ただ、それは、これもびわこ独特の「うねり」が原因だったり、強風による波浪水面だったりするケースで多く見られるものである。さらにもうひとつ、「イン受難」となる大きな要因が、モーターの性能そのものを劣化させる“夏”という季節が起こす自然現象で、気温や湿度の上昇が人間（選手）の調整を狂わせる。

つまり、その逆である“冬”という季節は、全てのモーターを分け隔てなく性能アップに導く。そうなると、素性の良いモーターは放って置いてもずっと調子は良く、調整に悩まされることもない。気配がずっと安定して良いから良い成績が獲れ、成績が良いから準優勝戦で良い枠をゲットでき、好枠からすんなり勝って優勝戦に駒を進める、とトントン拍子で事が進むその結果が、今回の2節連続①-②決着3連発となったのではないだろうか。だとすれば、季節的にも強力モーターの天下はしばらく続きそうだ。

●レディースオールスターに向けて

3月6日からびわこでは「GⅡ第2回レディースオールスター」が開催される。昨年、クイーンズクライマックスを制した遠藤エミが、女王として地元で迎えるビッグイベントだ。この女子レーサーの熱い戦いに、どのようにびわこのモーター相場が絡んでくるのか。これは非常に興味深いテーマだが、ここで占うとすれば、ズバリ、「上位モーターを引き当てたもん勝ち」とはならないと予測する。

その根拠は2つある。出場選手の実力差がありすぎるということ、もうひとつは、強烈なパワーを持つモーターは往々にして乗りにくさを伴うからだ。経験の浅い女子選手などは「回りづらくてレースになりません」という状況になる恐れが大である。もちろん、遠藤をはじめ、実力上位の選手が上位モーターを引き当てればそれこそ“鬼に金棒”なのだが…。

ボートレースびわこ 2018年の準優勝戦・優勝戦 3連単結果（連番、配当、人負）

新春滋賀県知事杯争奪戦 (1/3~)	第32回荒法師賞 (1/12~)	オールサンケイスポーツ杯 (1/26~)	BOATBoyカップ (2/5~)
準優勝戦 10R ①-④-⑤ 3,350円① 11R ①-②-③ 440円① 12R ②-①-⑤ 5,630円⑯	準優勝戦 10R ①-⑤-③ 4,480円⑱ 11R ①-②-⑥ 3,290円⑫ 12R ②-①-⑥ 5,960円⑯	準優勝戦 10R ①-②-④ 810円② 11R ①-②-⑤ 960円③ 12R ①-②-④ 770円①	準優勝戦 10R ①-②-⑥ 2,870円⑫ 11R ①-②-④ 650円② 12R ①-②-④ 630円①
優勝戦 12R ④-①-② 4,810円⑯	優勝戦 12R ④-③-② 8,690円⑳	優勝戦 12R ①-②-④ 730円①	優勝戦 12R ②-①-④ 1,470円③